

スギ花粉発生源調査

令和6年春の推定雄花数

令和5年春とほぼ同等
過去22年平均とほぼ同等



昨年並み

過去22年平均並み

花粉発生源対策を効果的に推進するため、令和5年11月下旬から12月上旬にかけて、県内45ヶ所の定点調査地においてスギ各40本(計1,800本)の雄花着生状況をA～Dの4段階で調査・評価しました。

定点調査地の配置



雄花着生ランク



A

樹冠の全面に着生。
雄花群の密度が非常に高い。



B

樹冠のほぼ全面に着生。



C

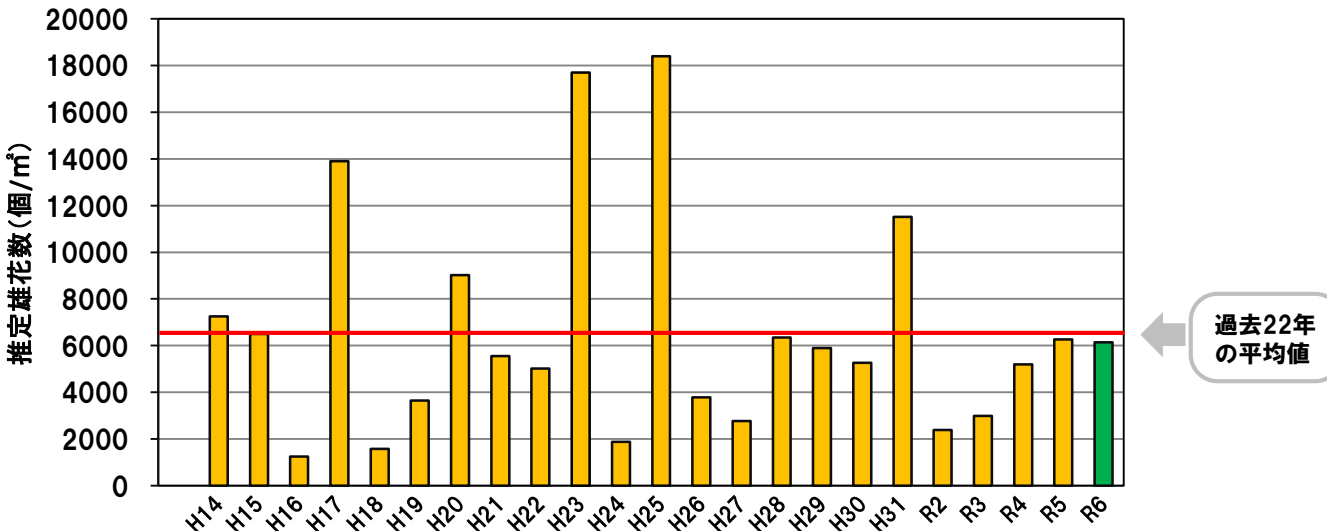
樹冠に疎らに着生、または
樹冠の限られた部分に着生。



D

雄花が観察されない。

春の推定雄花数の推移



推定雄花数の算出方法

推定雄花数とは、調査によって評価された各スギ個体のランクの割合(%)に対して重みづけをおこない、目視観測と実際の雄花数の測定結果に基づく推定式にあてはめたものです。

雄花指数

$$= A\text{ランク}(\%) \times 100 + B\text{ランク}(\%) \times 50 + C\text{ランク}(\%) \times 10$$

推定雄花数(個/m²)

$$= 10^{0.99341 \times \log_{10}((\text{雄花指数}/2.5) \times (1 + A\text{ランク}\%/100)) + 0.58416}$$

春の雄花着生ランクの推移

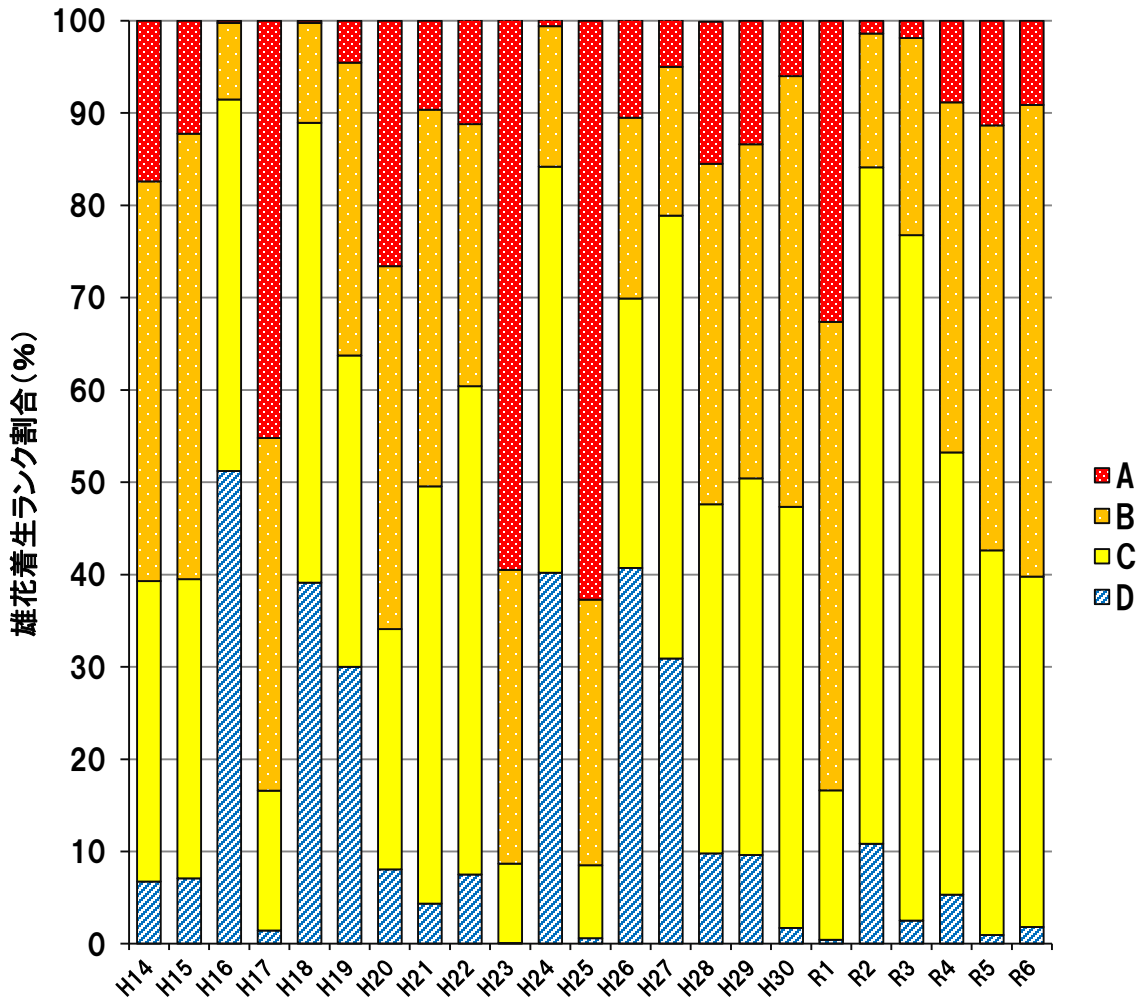


図 各調査年春の雄花着生ランクの割合

※注意点

上記調査地のスギ雄花着生状況は花芽の形成される夏季の日照時間や気温、降水量及びスギの生理状態によって決まります。

実際のスギ花粉飛散は飛散前後の天候および飛散時の風速・風向などの気象条件によって地域ごとに異なります。テレビ等の地域・日々の花粉飛散情報により、花粉症の方は適切な時期に医療機関を受診してください。